

W I P O が 2017 年の P C T 統計速報を発表

(その 1) 国際出願件数に関する統計

－ 中国の国際出願件数が日本を抜いて米国に次ぐ第 2 位に－

2018 年 4 月 2 日

青和特許法律事務所

IP 情報室

要約: 2018 年 3 月 21 日に W I P O から 2017 年の P C T 統計速報が発表されました。2017 年の P C T による国際出願件数は前年より 10,587 件増え (対前年比 4.5%増)、243,500 件となりました。日本は対前年比 +2,999 件と大きな伸びを示しましたが、中国が +5,791 件とそれ以上の伸びを示して日本を抜き、米国に次いで出願件数第 2 位となりました。これに対し、米国は 2015 年に対前年比マイナスとなって以降停滞を続けています。本稿では、国際出願件数に関する統計を紹介します。

<目次>

1. 日本の国際出願件数の推移
2. 国際出願件数の推移
3. 国際出願件数上位 20 か国
4. 国際出願件数上位 5 か国の出願件数の推移
5. 2017 年に中国の国際出願件数が日本の件数を超えるまで

<本記事の国際出願件数について>

本記事は、国際事務局が作成した“WIPO IP Statistics Database” (以下、「W I P O 統計」と記します。) のデータに基づき作成しました。

① 2017 年の国際出願件数

2017 年に受理官庁に提出され W I P O 国際事務局に送付された国際出願の件数に基づき、2017 年の国際出願件数に関する「W I P O 統計」が作成されます。しかし、2017 年 12 月末までに提出された国際出願の一部は、当該統計を作成する 2018 年の 2 月～3 月時点で国際事務局に送付されていない場合があるため、2017 年の国際出願件数は暫定的に予測件数を用いています。

② 国別国際出願件数

A 国の国際出願件数は、受理官庁の如何にかかわらず A 国の国民が出願した国際出願の件数をカウントしたもので、受理官庁としての A 国の国内官庁に出願された国際出願の件数とは異なります。

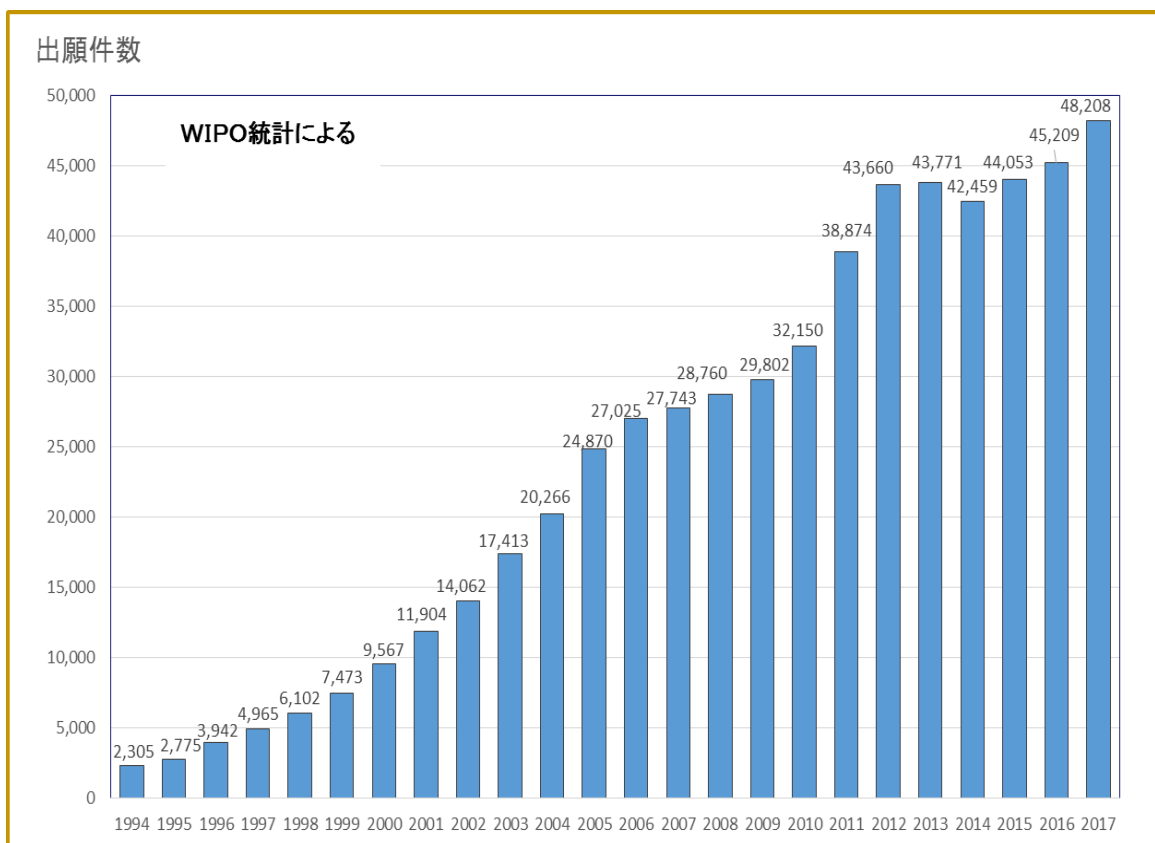
1. 日本の国際出願件数の推移

○日本の国際出願件数が対前年比 6.6%増

図 1 は、日本の国際出願件数の推移を示したグラフです。

日本の国際出願件数は、2014 年に対前年比 -3.0%と初めてマイナスとなりましたが、翌年以降順調に回復し、2017 年には国際出願全体の伸び +4.5%を上回る +6.6%と大きな伸びを示しました。

〔図 1〕日本の国際出願件数の推移



(注)日本の国際出願件数は、受理官庁の如何にかかわらず、日本の国民が国際出願をした件数をカウントしたものです。日本の国民は受理官庁としての日本特許庁及び国際事務局に出願することができます。また、米国に住んでいる日本国民は受理官庁としての米国特許商標庁に国際出願をすることができます。これら受理官庁にされた日本の国民による国際出願の合計が日本の国際出願件数です。

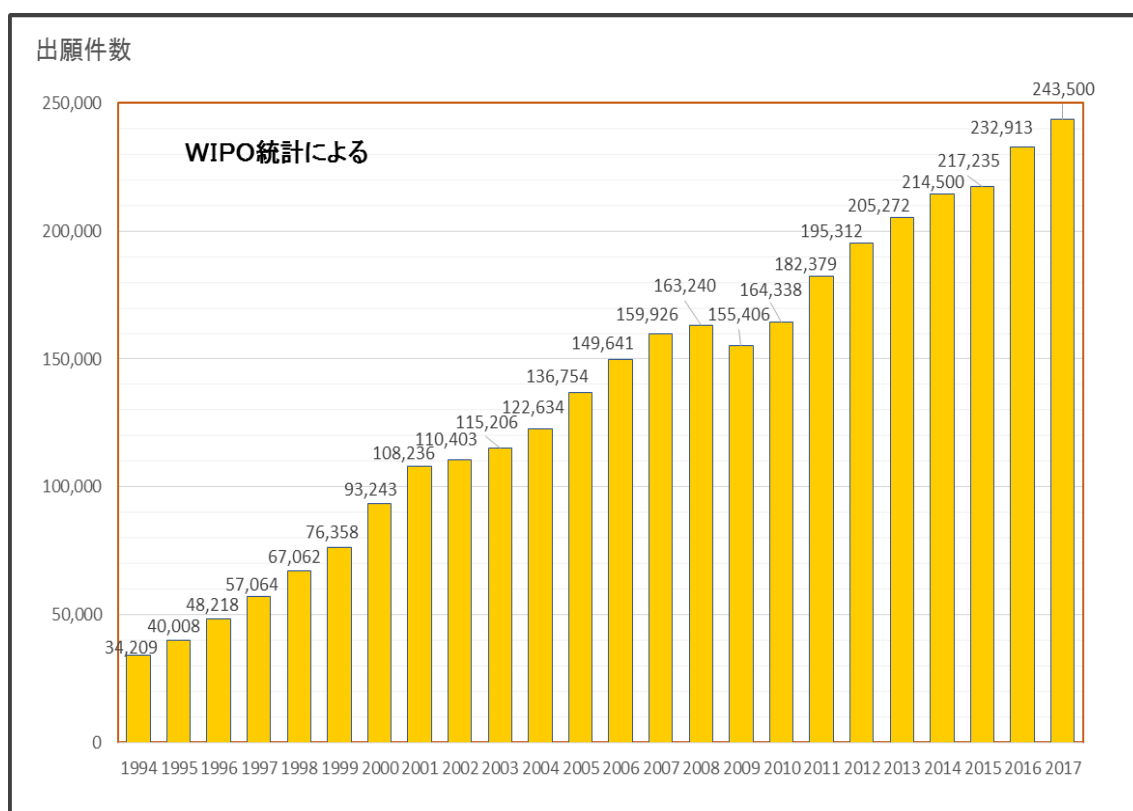
2. 国際出願件数の推移

○国際出願件数が伸び続け4.5%増の243,500件に

図2は、国際出願件数の推移を示したグラフです。

2017年のPCTによる国際出願件数は前年より10,587件増え、対前年比4.5%増の243,500件となり、順調に件数が伸びています。

〔図2〕国際出願件数の推移



(注) 国際出願件数は全ての受理官庁にされた国際出願件数を年毎に合計した件数です。

国際出願件数は対前年比10,587件増ですが、そのうち出願件数上位5か国（米国、中国、日本、ドイツ、韓国）の合計増加件数は9,703件で、全体の増加件数の92%を占めています。

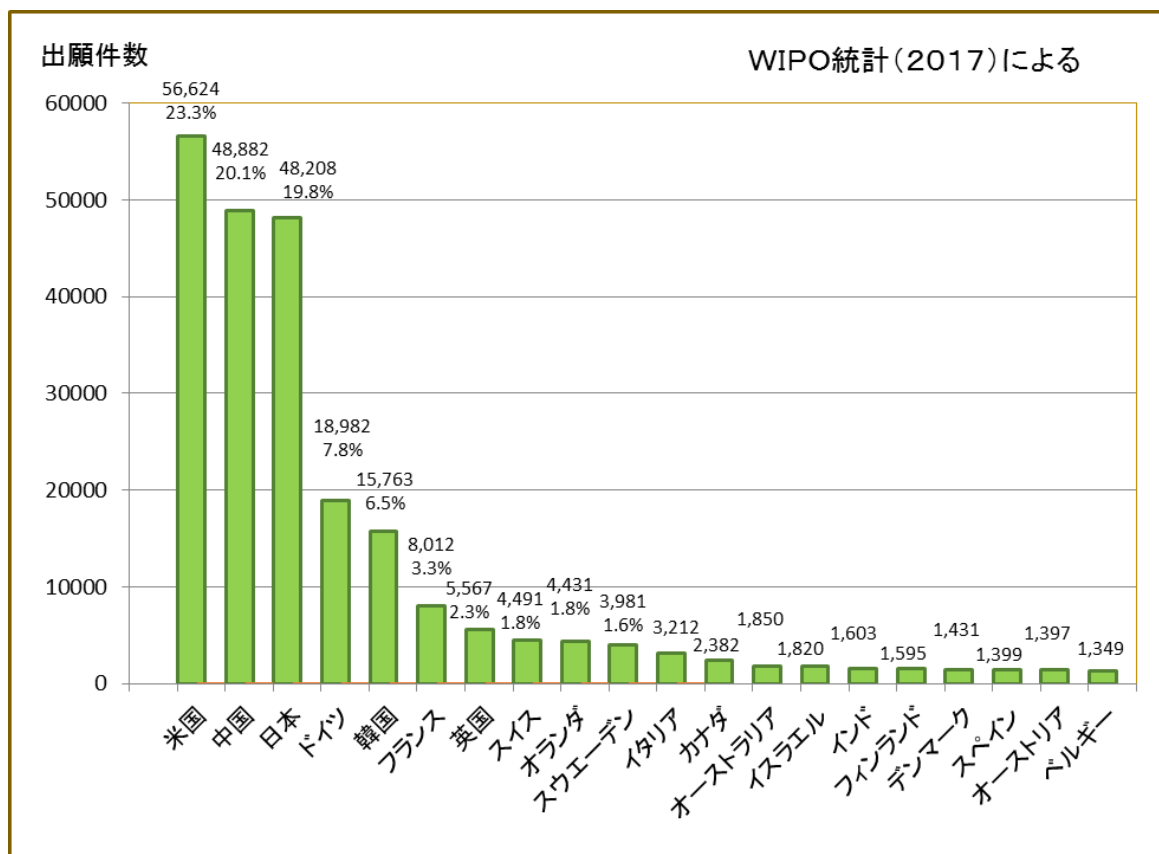
3. 国際出願件数上位 20 か国

○中国が大きな伸びを示し日本を抜いて第 2 位に

図 3 は、2017 年の国際出願件数上位 20 か国とその件数をグラフで示したものです。2017 年の国際出願件数上位 20 か国をみると、第 1 位は米国で、国際出願の開始（1978 年）以来ほぼ 40 年間第 1 位の座を保っています。

一方、中国が大きな伸びを示し、日本を抜いて米国に次ぐ第 2 位となりました。第 3 位は日本、以下ドイツ、韓国、フランス、英国の順となりました。順位の変動はありますが、上位 20 か国は昨年と同じです。

〔図 3〕 国際出願件数上位 20 か国（2017 年）



<国際出願件数上位 5 か国の件数が占める割合>

上位 5 か国の件数が全体に占める割合は以下のとおりで、合計すると 77. 5%になります。

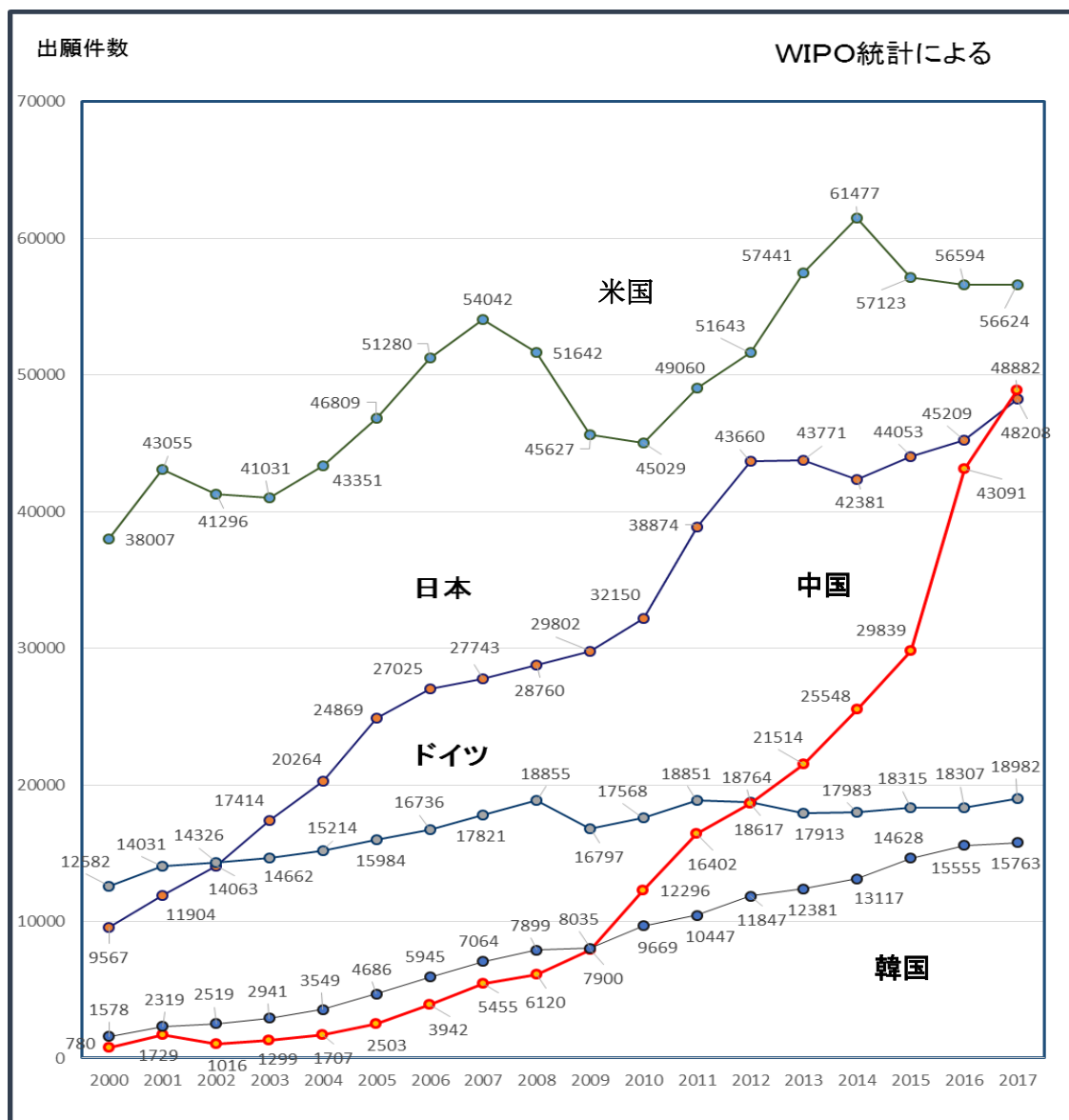
米国 --- 23. 3%、中国 --- 20. 1%、日本 --- 19. 8%

ドイツ --- 7. 8%、韓国 --- 6. 5%

4. 国際出願件数上位 5 国の出願件数の推移

図 4 は国際出願件数上位 5 国の出願件数の推移（2000 年～2017 年）を示したグラフです。

〔図 4〕 国際出願件数上位 5 国の出願件数の推移



中国（+5,791 件）と日本（+2,999 件）は高い伸びを示していますが、米国は 2015 年に減少し、2017 年は +30 件にとどまっています。

なお、ドイツは +675 件、韓国は +208 件です。

5. 2017年に中国の国際出願件数が日本の件数を超えるまで

2017年に中国の国際出願件数がどのような経緯を経て日本の件数を超えたのか、中国の国際出願件数の月毎の推移を分析してみました。

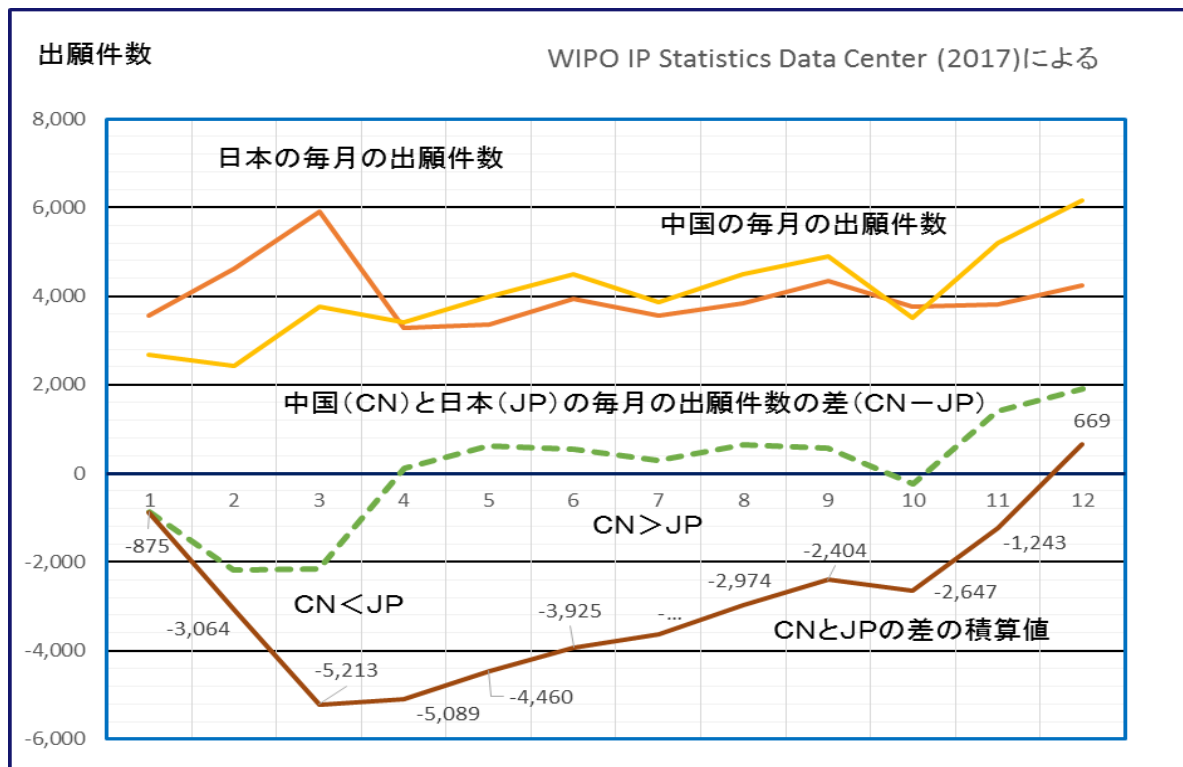
2016年には日本の件数に肉薄しましたが、2,000件余りの差で日本を追い越すことができませんでした。

表1は、2017年に中国の国際出願件数がどのような経緯を経て日本の件数を超えるに至ったかを分析するために作成したもので、図5は表1の内容をグラフにしたものです。

〔表1〕2017年における日本と中国の国際出願件数の変遷

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
日本	3,562	4,623	5,910	3,290	3,350	3,947	3,562	3,826	4,331	3,754	3,805	4,246	48,206
中国	2,687	2,434	3,761	3,414	3,979	4,482	3,857	4,482	4,901	3,511	5,209	6,158	48,875
月毎の差	-875	-2,189	-2,149	124	629	535	295	656	570	-243	1,404	1,912	
差の積算値	-875	-3,064	-5,213	-5,089	-4,460	-3,925	-3,630	-2,974	-2,404	-2,647	-1,243	669	669

〔図5〕2017年における日本と中国の国際出願件数の変遷



<図 5 の分析>

図 5 の点線は 2017 年の毎月の日本と中国の出願件数の差を示しており、「0」の目盛り線より下側の場合は中国が日本より少ない件数を表しており、上側の場合は中国が日本を超えている件数を表しています。

2 月と 3 月に日本の件数は中国の件数を大きく上回りましたが、その後 4 月～9 月には中国が毎月日本を 600 件前後上回り徐々に差を詰めています。

11 月末の段階で中国は日本より 1,243 件少ない状態でしたが、最後の 12 月に 6,000 件を超える大量の出願をして日本を追い越しました。

(注) 表 1 及び図 5 は、毎月の国際出願件数を提供しており、2018 年 3 月にデータが更新された“WIPO IP Statistics Data Center”のデータを用いて作成しました。そのため日本と中国の国際出願の件数は「WIPO 統計」のデータと異なります。

以上